

猫の飼い方ガイド

飼う前に

- 家族に動物アレルギーはない。
- ペットが飼える住環境である。
- 一緒に暮らせるルールを粘り強く教えてあげられる。
- 食事、病気の予防または治療費などの費用がある。
- 最後まで、ずっと世話をしてあげる気持ちがある。

性格と行動



- 猫の寿命は平均10年前後と推定されています。
- オスもメスも単独行動が好きでマイペースです。
- 猫はよく寝る。成猫で15時間はお休みしています。
- 行動範囲は犬に比べ小さく、家と庭程度が縄張り。
- 猫の優位性（強さ）は高さ。
坂道では上にいるものが強く、下のものが警戒体制
- 室内の高いところが好きでリラックスできます。
- 猫同士の情報伝達は匂いつけですが、飼い主には鳴き声で意志を伝えます。
- 体をすりつけてくるのは安心や親愛表現です。
- 爪とぎ（引っかき行動）はマーキングと匂いつけ
気持ち楽しく高揚すると始めることがあります。
- 尿マーキングは縄張りでの自分の存在の誇示の他に
不安やストレスを感じるとトイレ以外でもします。¹

猫の行動

猫と共に暮らすには、その行動を理解することが大切ですが、猫好きの方は知っていても、一緒にいる家族の方も興味を持ってほしいと思います。

①外猫の子は早めに家にいれ、人に慣れさせます。
犬より早く社会行動ができようになるので巣立ちが早く、早めに人に馴れさせておきます。

②自分の匂いで安心

猫は単独行動者なので、知らない匂いは苦手で自分の匂いだけが安心材料です。

体のスリスリ行動、尿かけ、爪とぎは自分の匂いをつけることで、不安を取り除いている行為になります。

③猫の安心する場所、居場所の提供

身を隠せて、高い所から見晴らせているときは至福の時のようです。

④十分な遊び

猫は狩りが好きなので、道具遊びを使って捕獲できた充足感をつくりだします。

⑤突然の攻撃行動（転嫁性攻撃行動）

こちらがなにもしてないのに、近くにおいて攻撃されることがあります。外に猫がいたとかで不安が募っているときの、八つ当たりのような攻撃です。

参考までに、下表に猫と人の年齢の比較を示しています。

猫	20日	100日	200日	1年	4年	8年
人	1歳	5歳	10歳	18歳	35歳	55歳





屋内飼養

屋内飼養は猫の欲求不満やストレスの原因になる？→×

えさが十分あれば広い空間は必要としない？→○

室内で飼う方が安全？→○

交通事故の心配もない
感染症の心配もない

外猫は屋内猫に比べ短命？→○

猫同士の感染症にかかりやすくなる

室内飼養のためには

- ◆ 乳がん等の病気を軽減するため、不妊・去勢手術をしてあげる。
- ◆ 高い場所にいることで安心するので、その場所を用意してあげる。
例えば、テレビの上、棚、タンスの上に登って良いようにしておく。
- ◆ 快適なトイレを用意し、トイレの訓練をしてあげる。
- ◆ 猫からえさの要求や遊びの誘いがあったら、応えてあげる。
- ◆ 毛のブラッシングをいやがらない程度に馴らしてあげる。

猫のしつけ方



犬はグループで行動し，順位性の社会にいますが，猫は単独行動者なので「命令」には従順ではありません。

ねこは
「しつけ」

犬は「訓練」と
「しつけ」

「しつけ」は猫本来が持つ行動の中で，人と共同生活する中で迷惑な行動をコントロールするもの。子供に教えるように穏やかに根気強くが大切。

「しつけ」のために叩くのは逆効果，飼い主を嫌がるだけです。

その時，その現場で猫を驚かして，不快感を作り出します。例えば，大きな音を近くでたてるなど。

猫のトイレ対策

猫は1日に3回程度の排尿と1~2回の排便をします。

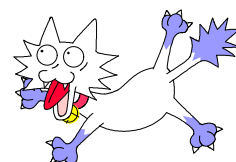
- ①猫用トイレを猫が落ち着けそうな場所におくことで早めに覚えます。
- ②猫がソワソワしてきた時は、トイレに連れて行ってみます。
- ③トイレ以外でした時は、臭いを消しておきます。
- ④それでも何度かトイレ以外でする時は、その場にトイレを置いてみます。

ヒント：トイレの砂の種類を変えてみるのも成功のヒケツ！

爪とぎの対策

爪とぎを禁止することは、猫の習性を抑制することになり、ストレスになります。

- ①爪とぎ専用の場所を用意する。
- ②爪とぎしていたら、叱らずに猫を専用の板のところに連れて行き、爪とぎを教えます。
- ③すでに爪とぎされた家具や机などは、近づけない対策（ビンを置くとか）とか、爪のかからない保護プラスチック板を付けるのも予防策です。



不妊と去勢の必要性

1 不妊

メスの猫は生後7～8ヵ月には性成熟し、繁殖することができる身体になります。

猫科は交尾が刺激になり排卵するメカニズムですから妊娠の可能性は90%と高率です。

発情期は春と秋が中心ですが、年3回もまれではありません。

出産頭数3～5頭の妊娠3回で9～15頭の子猫が生まれる事になります。

そして飼い主はもらい手探しに苦労することになります。

飼い主は発情期の10日間程度、猫を家に閉じ込めるなどその機会をつくらないようにすると聞きますが、独特の鳴き声やいらいらした行動の他に、家の外では、発情をかぎつけたオス猫たちが集まり、鳴き声や喧嘩が起こることもあります。さて、我慢することができるでしょうか。

不妊することにより、以上の心配事もなくなり出産等のストレスから解放されるので、老化も遅くなり、その猫の子供っぽい無邪気な気質も長く続くことになります。

さらに大事なことで、メス特有の子宮蓄膿症、乳がん、卵巣腫瘍等の病気の発生率を低減することができます。

手術は3ヵ月齢以上でいつでも可能です。

不妊と去勢の必要性

2 去勢

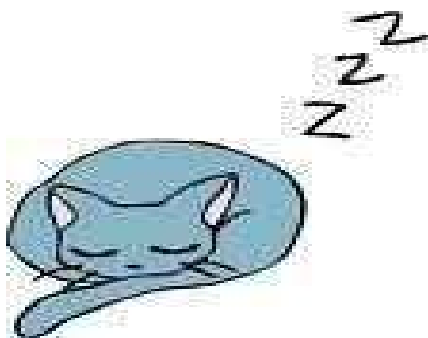
オスの猫は生後6～12ヵ月齢で性成熟し、求愛行動の鳴き声、尿マーキング（きつい臭いのスプレー）が始まります。

外に出さないでおくと、家中にスプレーして回ることになりませんが、かといって、外に出すと別のオス猫と喧嘩の末、ボロボロになって帰って来ることもあります。

猫科のオスは繁殖のためには、数日～10日間程度食事もとらずにメスを求めるので、放浪中、他の猫との接触で感染症にかかったり喧嘩のけがや交通事故が飼い主の心配のたねになります。

去勢することにより、外に出たい気持ちを減少するなど、上記の行動が抑制されることになり、またメス猫と同様に前立腺の病気、精巣腫瘍、遺伝的な病気の予防にもなります。

去勢手術は、3ヵ月齢以上、6～7ヵ月齢が適齢です。



ねこの病気



猫が元気がない、食欲がない、急に痩せてきた、異常に水を飲む、頻繁に身体を掻いている。咳やくしゃみをしている等
普段と違う場合は、動物病院に相談してみます。
病気の例を下表に示します。

ワクチンで予防

猫パルボウイルス感染症	発熱，食欲不振，嘔吐，下痢が主症状
猫ウイルス性気管炎	猫の風邪で発熱，食欲不振，くしゃみ，結膜炎
猫カリシウイルス感染症	猫風邪の一種，発熱，口内炎で食欲不振
猫白血病ウイルス感染症	貧血，免疫力の低下，流産など白血病の症状

胃腸炎	腐ったエサ，植物の摂取による突然の嘔吐
中毒	ニコチンの誤飲，チョコレート中毒
尿毒症	老齢猫の主要な死因の一つ 初めは症状がわからないが，のどの渇き，水の多量摂取，嘔吐，食欲不振

ねこの病気から人に (動物由来感染症)

猫だけではなく、周囲の家族の病気にも注意が必要

猫ひっかき病	猫に噛まれたり、ひっかかれたりして傷口から細菌が感染して発熱、リンパ節の腫れ
Q熱	感染している動物の尿、フン等が乾燥して飛散したものを吸引することで感染。発熱や頭痛などインフルエンザに似た症状
パスツレラ症	動物の口内にいる細菌が、舐めたり、噛んだりすることで感染。傷の腫れ、化膿、咳などの風邪様症状
ノミ症	動物はノミにより貧血、皮膚炎 人はノミによる皮膚炎

※このガイドは環境省動物適正飼養教本を資料としています。

終生飼養のために

対策：問題
行動への適
切な対応

対策：
室内飼養

2猫の問題行動
(噛みつき、排泄等)

対策：不
妊手術

1猫の社会的
迷惑行動
(排泄、鳴き声等近
所からの苦情)

3子猫の増加
(無意味な繁
殖)

様々な原因で

飼い続けられない事態に

処分？

自責の念

飼い主の精神的苦痛

動物愛護上問題

社会的
非難